



山崎泰昌議員

景気対策

ふるさと雇用再生特別交付金の成果

5件の事業で10人の雇用を創出

質問 完全失業率が過去最悪の水準に達するようだと、景気回復や雇用対策について、次の3点を質問する。

- ①世界同時不況後に、町の失業率と町税の収入はどのように推移したか。もしくは、どのような影響を予想するか。
- ②国は、即効性の経済効果を期待し、ふるさと雇用再生特別交付金事業を行ってきたが、その成果は見えているか。
- ③県は観光立県を目指すようだが、本町も観光の目玉となる施設やクリーンエネルギーを創出する施設をつくり、町独自の雇用を生み出しては。

沼崎町長

- ①失業率の調査は、国・県単位で行っており、町単位では把握していない。町税については、失業により納付困難を訴える声もあり、町税収入のマイナス要因として、影響を与えると考えられる。
- ②2427万円が配分されており、5件の事業で10人の雇用を創出した。
- ③環境にやさしい自然の資源を活用する方法などの検討を進めている。その中で、本町の産業に結びつき新たな雇用を生み出す項目を検討する。

保健福祉

新型インフルエンザ対策行動計画は9月1日付けで作成、対策本部を設置

質問

6月の定例会で、新型インフルエンザ対策について質問したが、より大きな事案となってきた。ワクチンが足りず、優先順位をつけて接種するという異常な状態である。前回

議員8人が一般質問



9月1日付けで山田町新型インフルエンザ対策本部が設置されました(役場4階総務課内)

新型インフルエンザ対策行動計画は

「本町の県立病院に内科医がいないのだから、県の統一的な計画とは違いがでると考えるが、町独自の計画を立てるのか」という質問に対し「しばらく時間をもらいたい」との回答だった

沼崎町長

- ①9月1日付けで作成し、同日、山田町新型インフルエンザ対策本部を設置した。
- ②宮古市にある対策マニュアルを調べ参考にした。
- ③宮古市の行動計画と違いは特にない。

ので、次の3点を質問する。
①行動計画はできたか。
②宮古市で策定してある新型インフルエンザ対策マニュアルを調べたか。
③県立病院に内科医のいる宮古市との計画の違いは。